



3年生



思春期保健講座を実施しました！

10月3日（木）に、中学3年生を対象とした思春期講座を実施いたしました。

講師に郡山市医療介護病院の副院長、宗形初枝先生をお呼びし「命の大切さについて」お話していただきました。また、助産師さんとしての経験から、生命が誕生することの素晴らしさや、今ここに居る「自分」がかけがえのない存在であること、思春期の今を生きるみなさんにとって優しさを伝え合うことの大切さについて、先生の熱い想いとともにお話ししていただきました。



褒められた方も、褒めた方も、2人とも、「なんだか嬉しい気持ちになる」と実感できたようです！



「お互いの良いところを伝え合おう」という活動では、照れながらも、自分の言葉で相手の良いところを伝え合っていました！みなさん、とても素敵な笑顔でした！

～生徒たちの感想～

○私たちは、幸せに生きるためにたくさんの環境に触れ、たくさんの人と出会い、支えられていることを知り、自分だけでなく支えてくれている人たちに感謝したいと思いました。

○もし、自分に子どもができれば、かきと優しさを伝えて、いつも笑顔でいられる良いお父さんになりたいです。自分が大人になった時、幸せな家庭をもてるようになります。

○私たちは、幸せに生きるためにたくさんの環境に触れ、たくさんの人と出会い、支えられていることを知り、自分だけでなく支えてくれている人たちに感謝したいと思いました。

○今の自分たちは様々な人の苦勞や、支えによって存在して生きることができているのだと感じました。特に出産のときには、赤ちゃんもお母さんもどちらも頑張っていることが改めて分かりました。

○2人1組でお互いの良いところを伝え合う時に、すごく気分がすっきり良い気持ちになれたので、すごいなと思いました。なので、相手の悪いところではなく良いところを見つけて笑顔で楽しく生活していきたいです。

○自分が大人になって子どもができたときは、愛と笑顔で接したいです。また、今の自分の命があるのは、両親や助産師さんのおかげであることを、今日の講話を聞いて改めて分かりました。